

ポラリスで提供するパワーリハビリ

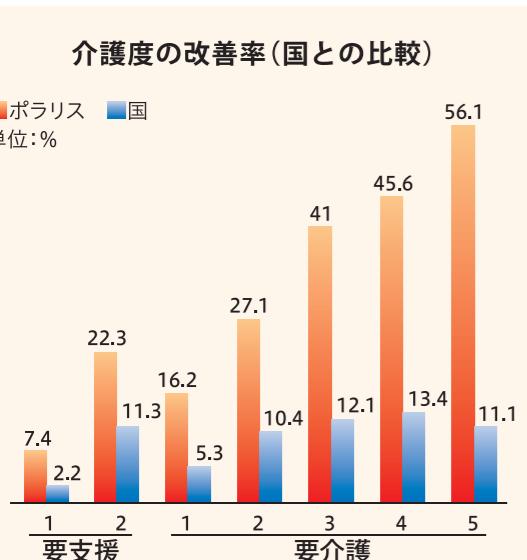


高齢者でも安全に続けられる低負荷の反復運動で筋肉だけでなく神経も甦らせる。

2004年には宝塚市内2カ所に「ポラリスデイサービスセンター」を開設し、その後はフランチャイズも含め、全国に約70カ所を展開。東日本大震災の発生後には、仙台での開設を急いだ。「13～15年にポラリスに通った約5,000人を調査したところ、204人が介護保険を卒業しました。これにより社会保障費が12億9,000万円も削減できたことになります」

家電メーカーなどとの事業提携

「私は00年に医療法人を立ち上げていますが、医療法人は規制が多いことから、01年には有限会社ポラリスを株式会社化して事業拡大を目指しました。その結果、ユービジネス助成金の採択を受けた池田泉州銀行をはじめ、様々な企業から注目され支援が受けられるようになります」



204名介護保険卒業(当社調べ) 12.9億円社会保障費削減

※国:政府統計の総合窓口平成25年度国民生活基礎調査より、平成25年介護給付費実態調査

11月審査分:受給者1人当たりの平均費用額にて計算

ポラリス:ポラリスに3ヶ月以上通い2013～2015年に認定調査を受けた5,032名
国:平成26年介護給付費実態調査、第57回社保審
介護給付費分科会資料より

株式会社ポラリス

設立:2002年7月(2000年4月創業)

資本金:5,000万円

住所:〒665-0835 兵庫県宝塚市旭町3丁目9番1号

T E L: 0797-57-5753

事業内容:通所介護事業・居宅介護事業・研究開発事業・
フランチャイズ事業など

施設に通いながら受けられる介護サービスに、通所介護(デイサービス)がある。その大半が、食事や入浴の支援といったお世話や、ゲームなどレクリエーションに終始するなか、株式会社ポラリスは自立支援に特化した介護を手がけている。2002年の設立後、その成長は目覚ましく、全国に介護サービスセンターを70カ所近く開設し、近年は大手企業との業務提携を図っている。同社の社長で医師である森剛士氏に、「デイサービスの現況やスタートアップの原動力を聞いた」。

臨床現場での課題を解決

わが国では、2000年ころから医師による起業が増加傾向にある。要因の一つに臨床や研究、指導といった現場での課題を、本業とは別の事業で解決しようとする、強い思いが存在する。株式会社ポラリスの代表取締役である森剛士氏も、こうした医師の一人である。学生時代に遭遇した阪神・淡路大震災では、避難生活を続ける高齢者が活動量の減少から心身の機能が低下し、

寝たきりになるケースを目の当たりにした。さらに、脳梗塞を発症し、入院した祖母が、長期入院は診療報酬が下がるとの理由で退院を余儀なくされ、その後十分なりハビリを受けられなくなつたことも、外科医からリハビリ専門の医師への転向を強く後押しした。

「通所でのリハビリの重要性を説いていたところ賛同者が得られ、2000年に京都で慢性期を専門とするリハビリ特化型クリニックを開業し、翌年に出身地の宝塚市でクリニックと通所リハビリテーションセンターを開きました」現在、宝塚市の森クリニックは、要介護や虚弱の高齢者のほか慢性期障害者などの「自立した生活」を支援する医療機関として地域から厚い信頼を得ている。また、併設のリハビリテーションセンターでは、外来や通所だけでなく訪問のサービスも提供している。

02年にはリハビリ難民とも言われる人たちの真の自立を支援するために、介護保険法における「通所介護」を行う有限会社ポラリス(現・株式会社ポラリス)を設立。食事や入浴などのサービスを提供しない、歩行運動と体質改善を行う短時間コースに特化したサービスを中心に提供を始めた。

現在は、食事・入浴のサービス提供の有無が選択できる事業所の運営も実施している。

廃用症候群からの脱出

「当社のリハビリは、不活発な生活などで心身の機能が低下し、最悪、動けなくなるような『廃用症候群』の方を対象としています」

厚生労働省では不活発な生活とは病気のほか、避難所での生活を上げている。こうした症状を改善し、自立を支援するために、同社が提供する4つの基本的なケアで構成されている。なかでも特徴的なものが、運動に関する「パワーリハビリテーション」である。これは国際医療福祉大学大学院の竹内孝仁教授が研究・開発したもので、専用のトレーニングマシンを用いて負荷の低い運動を繰り返すことで、使われていなかつた筋肉や神経を再び活性化させる。

「通所リハビリテーションセンターを開設して3年後に『パワーリハビリテーション』の存在を知りました。『廃用症候群のリハビリには、これしかない!』と、通所リハビリテーションセンターに導入したのです」



代表取締役 森 剛士

「まず諦めないこと」と説く、自立支援特化型デイサービスの第一人者

株式会社ポラリス

21年度の改定では、この加算が更に手厚いものとなつている。同社にとって、まさに追い風である。「これから起業を目指す方に向け、必要な心構えを伺つた。

「私がスタートアップした当初は『自立支援特化型のデイサービスを始めた』と資金調達に奔走しても、なかなか理解が得られませんでした。しかし私は諦めなかつた。その後賛同者を得たことで理想とする介護サービスの提供が実現しました。起業を成功させるには、まず諦めないと。また、世の中を変えるくらいの挑戦意識を持つていただきたいですね。そのためにはコンフォートゾーン(居心地のよい場所)から出る覚悟も必要です。さらに一人で立ち向かおうとせず、周囲の人を巻き込み、情報を提供し合い、支え合うことも必要だと思います」